

# えびはら直矢市政報告

発行人 海老原直矢

〒362-0026 上尾市原市北一丁目 14 番地 9 TEL. 048-716-7323  
E-mail. [ebihara116@gmail.com](mailto:ebihara116@gmail.com) <https://www.ebihara-naoya.com/>2025年6月  
2025.12.23

## 先進的な政策立案の必要性 上尾市が国の補助金を獲得できない理由 地域をリードするゼロカーボン施策を立案するために必要なこと

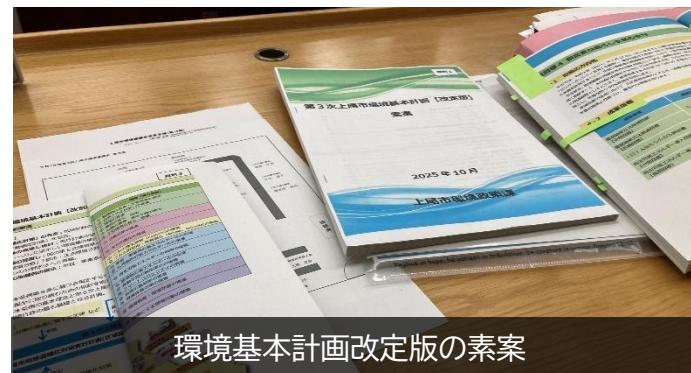
11月1日、委員を務めている環境審議会に出席し、第3次上尾市環境基本計画の改定について審議をしました。

環境審議会では毎回専門的な知見から、そのほかの審議会と比較しても活発な議論が為されていますが、今回も環境政策課から提案された改定案について、計画に対する市の本気度やゼロカーボン施策の実効性について重要な指摘がありました。

私からは、今回の基本計画に包括される『地球温暖化対策実行計画』と『気候変動適応計画』について、さいたま市の計画と比較してあまりにも内容が薄く、対策のための施策も「補助金」と「情報提供」という従来の施策の焼き直しであり先進的な施策を提案していないことについて苦言を呈しました。

さいたま市が全国的にも先駆的なゼロカーボン施策を次々と打ち出し国の支援も受けている中で、上尾市は国の補助金を獲得できず基金を切り崩すことを余儀なくされています。今回の計画を見ても、地域をリードする施策を提案していく意欲が不足しているように感じられます

上尾市の政策立案能力を高めていかなければ、結果的に市民が不利益を被ることになります。まずはこのゼロカーボン施策を対象に、能力向上の方策を提案していきたいと思います。



環境基本計画改定版の素案



### キーワード

#### 第3次上尾市環境基本計画

環境に関する市の施策の方向性を示すとともに、市民・事業者が環境保全に取り組むための指針を明示する計画。計画期間は2021年度から2030年度。今回の改定では、体系の見直しや気候変動適応計画を含めて策定することなどが主なポイントとしてあげられる。



### データでみる

#### 上尾市とさいたま市の違い

上尾市とさいたま市では気候変動適応計画で示している事業数がそもそも大きく違う。



	事業数
上尾市	8
さいたま市	28

環境審議会のこれまでの会議録はホームページで公開されています。

(今回の議事録は来年1月ころの公開予定です。)

上尾市環境政策課 <https://www.city.ageo.lg.jp/soshiki/s251000/>



# 市民の声を形に

行政視察

視察項目

議会の政策立案サイクル

10月に、所属する議会運営委員会で静岡県掛川市・岐阜県可児市の視察を行いました。

視察した掛川市と可児市はいずれも、議会の監視機能・チェック機能とともに政策立案のための機能を他の自治体の議会と比較して大きく充実させており、議員個人ではなく「議会」「委員会」として政策提言が為されています。

上尾市でも現在議会改革や予算・決算審査のプロセスの見直しの議論が進められています。これらの自治体の事例を参考としながらより市民の皆さんに納得していただける働きができるよう取り組んでいきます。



## 静岡県掛川市「議会運営及び議会活性化の取り組みについて」

掛川市議会では常任委員会における活動として『政策立案サイクル』が確立されており、『テーマ設定⇒調査研究・調査事項の抽出・視察⇒政策素案のまとめ⇒議会報告会や各種団体との懇談会による意見聴取⇒政策素案の完成⇒執行部側との調整⇒政策立案⇒政策討論会』という流れで委員会を中心とした政策立案が行われていました。



## 岐阜県可児市「市民意見反映のための取り組みについて」

可児市議会では、議会が持つ力を最大限引き出すことができるよう様々な取り組みが為されています。4年間で任期を迎える自治体議員の職務の特性に合わせて、議長マニフェストや議会・委員会の継続課題を文書としてまとめ、次期任期への提言とすることでの切れ目のない議会運営を行うとともに、委員会を基本的に変えずに議員の専門性を高め、会派ではなく委員会としての代表質問を行うなど、委員会の機能強化にもつとめていました。

## 上尾市において現在議会改革特別委員会で検討されている内容

- 議会報告会：議会として市民に向けた報告会を開催
- 意見交換会：市内で活動する団体などとの意見交換を委員会として実施する。
- 議会モニター制度：住民から公募などでモニターを選び、議会に関する意見を聴取する。
- 政務活動費：政務活動費の支給額の見直し



## えびはら直矢プロフィール

昭和62年12月3日生まれ。

●上智大学法学部卒

●首都大学東京社会人人類学教室修了。  
国連 UNHCR 協会職員などを経て、  
衆議院議員公設第一秘書を務める。

大学在学中に市民団体を設立し、子どもたちの放課後を考える団体や演劇教育を推進する団体など複数の団体の運営に携わってきた。2017年、上尾市議会議員に当選(現在3期目)。都市整備消防常任委員会委員、議会運営委員会委員、上尾、桶川、伊奈衛生組合議員、環境審議会委員など。家族:妻、長男(10才)、長女(9才)、次男(7才)

市政へのご意見やお困りごとがございましたらお気軽にご連絡ください →FAX 048-677-1676

お名前

ご連絡先

ご意見やお困りごとなど